

第 6 回 通 常 総 会

1991年6月27日(木)

社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE



〒162 東京都新宿区津久戸町4-7

OSビル402号室

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

第6回通常総会次第

日 時 1991年6月27日(木) 12時20分～13時

場 所 学習院大学・記念会館大ホール(東京・目白)
東京都豊島区目白1-5-1 TEL.03-3988-9805

- 総会次第
1. 開 会
 2. 会長挨拶
 3. 議長選出
 4. 1990年度事業報告
 5. 1990年度決算報告、監査報告
 6. 1991年度事業計画
 7. 1991年度予算
 8. 1991年度役員構成
 9. 1991年度評議員構成
 10. 名誉会員の推薦
 11. 個人会員の除名処分
 12. 規程・細則の改正
 13. 1990年度論文賞表彰
 14. 学会創立5周年記念論文賞表彰
 15. 閉 会

1990年度事業報告（案）

1. 概要

学会設立4年目を迎え、引き続き理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化を進めるとともに、第4回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動および社団法人への移行に重点を置き、学会活動の活発化、会員サービスの充実をはかった。また、海外関連団体との協調活動推進の一貫として、1990年秋に国際会議2件を開催した。

懸案の社団法人への移行は、所管庁である文部省の審査も順調に進み、6月29日に社団法人設立発起人会、設立総会を開催して定款、役員構成などを承認、同日開催の第5回通常総会で従来の任意団体の解散、社団法人への移行を決議、9月1日付で文部省の認可を受け、社団法人として再スタートした。

学会初の国際会議ALT'90およびPRICAI'90が秋に開催され、ともに海外からの参加者を含めて予想以上の参加者と内容の充実により盛会で、2年ごとの次回開催が決まった。

7月23日から3日間にわたり学習院大学で開催した第4回全国大会は、論文発表169件、ピーターズ教授（スタンフォード大）の招待講演などで、盛会裡に終わった。

会誌発行は隔月刊も軌道にのり、編集委員会の長期的な企画と周回の準備のもとに、各号技術特集、座談会、パネル討論、チュートリアル連載などを組むほか、引続き好調な投稿論文の掲載で会誌の充実をはかった。

研究会活動は、他学会研究会との共催を含め3研究会で計10回の研究会を開催、研究発表計106件、講演1回4件、パネル討論1回が行われた。

セミナーは東京、大阪、名古屋で計3回開催、学生のための人工知能講演会は、鳥取大学、山形大学、熊本大学で開催、いずれも好評であった。

2. 会員現況（1991年3月31日現在）

正会員	3,817名
学生会員	310名
賛助会員	155社
特殊購読会員	59団体

3. 会誌の発行

◇第5巻第3号（通巻21号）

・巻頭言、チュートリアル連載 [知識表現入門]（第6回）、パネル討論 [エキスパートシステムと人工知能理論]、論文8編、その他で構成

◇第5巻第4号（通巻22号）

・巻頭言、特集 [分散人工知能] 解説7編、論文5編、その他で構成

◇第5巻第5号（通巻23号）

・新会長挨拶、会誌編集委員長挨拶、一般解説1編、論文11編、その他で構成

◇第5巻第6号（通巻24号）

・巻頭言、特集 [知能ロボット] 解説6編、論文6編、その他で構成

◇第6巻第1号（通巻25号）

・巻頭言、招待講演 [Intelligent Language Processing]、小特集 [推論の高速化技術] 解説4編、一般解説1編、論文6編、ショートノート1編、その他で構成

◇第6巻第2号（通巻26号）

・巻頭言、座談会 [ソフトウェアの知的な開発へ向けて] 解説8編、一般解説1編、論文7編、ショートノート2編、その他で構成

4. 国際会議の開催

◇ [第1回計算論的学習理論国際ワークショップ (ALT'90)]

- ・日 時 1990年10月8日(月)～10日(水) 9時～17時30分
- ・場 所 東京大学山上会館(東京・本郷/東大構内)
- ・プログラム 招待講演3件/一般講演28件(国内15、海外13)
- ・参加者 131名(国内108、海外23)

◇ [環太平洋人工知能国際会議 (PRICAI'90)]

- ・日 時 1990年11月14日(水)～16日(金)
- ・場 所 名古屋国際会議場(名古屋・熱田)
- ・プログラム 招待講演4件/パネルディスカッション2件/発表論文149件
- ・参加者 921名(日本751、外国170)

5. 1990年度全国大会(第4回)の開催

前年度とほぼ同じ構成で第4回全国大会を開催した。

◇日 時 1990年7月23日(月)～7月25日(水)

◇場 所 学習院大学・記念会館および西4号館

◇プログラム構成

・特別講演

[人工知能-新しい社会基盤としての情報技術に向けて-]
大須賀節雄(東大)

・招待講演

[Natural Language Processing and Artificial Intelligence]

Prof. Stanley Peters

(Center for Study of Language and Information, Stanford University)

・パネルディスカッション [大規模知識ベースの構築と利用]

司 会 長尾 真(京大)

パネリスト 開原成允(東大)

横井俊夫(EDR)

横田一正(ICOT)

岩間憲三(ASTEM)

・一般講演

発表論文 169編

・参加者(論文集購入を含む)

1,144名(内非会員152名、学生145名)

・優秀論文表彰

優秀論文 6編

・チュートリアル講演

講演者/演題 西田豊明(京大)

[定性推論]

北村泰彦(大阪市立大)

[分散協調問題解決]

高木友博(国際ファジィ研)

[ファジィ理論概説と情報処理への応用]

長田茂美(富士通研)

[ニューロコンピュータの原理と応用]

浮田輝彦(東芝総研)

[自然言語インタフェース]

小林幸雄(NTT研)

[マルチメディアインタフェース]

乾 敏郎(ATR)

[並列処理と認知モデル]

参加者

368名(第1日135名、第2日126名、第3日107名)

6. 研究会の開催

人工知能基礎論、ヒューマンインタフェースと認知モデル、知識ベースシステムの3研究会が他学会との共催を含めて計9回の研究会を開催(人工知能基礎論研究会の10月度研究会は国際ワークショップALT'90開催のため休会)、そのほか12月に3研究会合同で、講演、パネル討論、研究発表のプログラムによる“A Iシンポジウム'90(第1回)”を2日間開催した。

◇人工知能基礎論研究会

・第10回

日 時 1990年6月5日(火) 10時30分~17時
場 所 機械振興会館65号室(東京・芝公園)
内 容 研究発表8件/参加者22名

・第11回《日本ソフトウェア科学会/プログラム合成・変換研究会と共催》

日 時 1991年2月6日(水) 13時~17時10分
場 所 (財)新世代コンピュータ技術開発機構 ANNEX A-1 会議室(東京・港区)
テ ー マ ソフトウェア工学と人工知能の接点
内 容 研究発表6件/参加者55名

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会

・第10回

日 時 1990年6月12日(火) 13時30分~17時
場 所 東京大学生産技術研究所第1会議室(東京・六本木)
テ ー マ ハイパーテキスト、ハイパーメディア
内 容 研究発表5件/参加者30名

・第11回《情報処理学会/コンピュータと教育研究会と共催》

日 時 1990年10月22日(月) 9時30分~17時20分
場 所 機械振興会館65号室(東京・芝公園)
テ ー マ ユーザモデル、学習者モデル
内 容 研究発表10件/参加者38名

・第12回

日 時 1991年2月15日(金) 10時~16時30分
場 所 九州工業大学情報工学部第一会議室(福岡・飯塚市)
内 容 研究発表6件/参加者22名

◇知識ベースシステム研究会

・第12回《電子情報通信学会/教育工学研究会・人工知能と知識処理研究会、

情報処理学会/コンピュータと教育研究会、日本教育工学会、CAI学会、と共催》

日 時 1990年4月25日(水)・26日(木) 9時30分~17時
場 所 機械振興会館地下2階大ホール(東京・芝公園)
内 容 研究発表28件/参加者延べ140名

・第13回《精密工学会と共催》

日 時 1990年6月26日(火)・27日(水) 9時40分~17時40分
場 所 東京工業大学百年記念会館フェライト記念会議室(東京・大岡山)
内 容 研究発表16件/参加者延べ166名

・第14回

日 時 1990年10月15日(月)・16日(火) 9時45分~17時
場 所 青山学院大学・総合研究所ビルディング12階会議室(東京・青山)
テ ー マ 実用レベルのエキスパートシステム
内 容 研究発表18件/参加者延べ75名

・第15回《電子情報通信学会、(財)京都高度技術研究所と共催》

日 時 1990年1月17日(木) 14時30分~17時20分
・18日(金) 10時~16時50分

場 所 (財)京都高度技術研究所(京都・下京区)

内 容 研究発表12件/参加者延べ45名

◇第2回合同研究会“AIシンポジウム'90(第1回)”

日 時 1990年12月5日(水)9時30分~16時30分

・6日(木)9時45分~16時30分

場 所 サンシャイン集会室4号室/5号室(東京・池袋)

内 容 講演3件、パネル討論“分散協調問題解決へのアプローチとその課題”6名、
研究発表12件/参加者延べ190名

7. セミナーの開催

◇第11回人工知能セミナー《大阪大学知識科学研究会と共催》

・テ ー マ:ソフトウェアの知的な開発

・期 日:1990年9月21日(金)9時30分~16時30分

・場 所:三田出版会大会議室(大阪・梅田)

大阪市北区中崎2-4-12 梅田センタービル31F TEL.06-373-8801

・プログラム:司 会 豊田順一氏(大阪大学)
自動プログラミング総論 原田 実氏(青山学院大学)
要求獲得の知的支援 上原邦昭氏(神戸大学)
プログラミングの知的支援 古宮誠一氏(情報処理振興事業協会〔日立製作所〕)

・参 加 者:50名

◇第12回人工知能セミナー《日本ファジィ学会、日本神経回路学会と共催》

・テ ー マ:ディベーターティング:AI vs ファジィ vs ニューロ

・期 日:1991年1月18日(金)10時~16時

・場 所:青山学院大学・総合研究所ビルディング12階大会議室(東京・青山)

〒150 東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03-409-8111

・プログラム:司 会 上野晴樹氏(東京電機大学)
AIから見たニューロとファジィ 白井良明氏(大阪大学工学部)
ファジィから見たAIとニューロ 向殿政男氏(明治大学理工学部)
ニューロから見たAIとファジィ 臼井支朗氏(豊橋技術科学大学)
パネル討論 同 上

・参 加 者:174名

◇第13回人工知能セミナー《東海エーアイ研究会と共催》

・テ ー マ:知的CAD

・期 日:1991年3月18日(月)9時30分~16時30分

・場 所:名古屋栄ビルディング大会議室<12階>(名古屋・東区)

〒461 名古屋市中区武平町5-1 TEL.052-951-5986

◇プログラム:司 会 椎野 努氏(三重大学)
総論:設計におけるAI 大須賀節雄氏(東京大学)
機械設計におけるエキスパートシステム

中島裕生氏(ニチメンデータシステム)

エレベータ設計支援エキスパートシステム

辻 秀一氏(三菱電機)

LSI設計におけるAIの応用例 白木 昇氏(沖電気工業)

・参 加 者:66名

8. 学生のための人工知能講演会の開催

◇第10回

- ・日 時 1990年6月21日(木) 13時10分～16時40分
- ・場 所 鳥取大学工学部第21講義室
- ・講 演 知識ベースシステムと知識表現 小山照夫氏(学術情報センター)
理解と問題解決 西田豊明氏(京都大学工学部)
- ・参 加 者 約80名

◇第11回

- ・日 時 1990年12月7日(金) 13時～16時20分
- ・場 所 山形大学工学部電子情報工学科304講義室
- ・講 演 自然言語処理の現状と問題点 高木 朗氏(CSK)
ソフトウェア開発へのAIの適用 玉井哲雄氏(筑波大学)
- ・参 加 者 約30名

◇第12回

- ・日 時 1991年1月18日(金) 13時10分～16時30分
- ・場 所 熊本大学工学部223番教室
- ・講 演 知識システムの動向と課題 寺野隆雄氏(筑波大学)
ロボットビジョンー画像理解から環境理解へ 北橋忠宏氏(大阪大学)
- ・参 加 者 約70名

9. 研究部会の活動

“知的ソフトウェア開発”、“知的データベース”、“知的コミュニケーションネットワーク”の3研究部会とも、ワークショップなどの開催は次年度に見送りとなった。

10. ニュースレターの発行

ニュースレターの作成、発行はとりやめたが、学会活動の最新情報を会員に伝達するために、各種パンフレットを3回にわたり配布した。配布したパンフレットは次のとおり。

- ・1990年度全国大会(第4回)開催案内
- ・1991年度全国大会(第5回)論文募集案内
- ・1990年度研究会のお知らせ
- ・1991年度研究会のお知らせ
- ・4月度/6月度/10月度/2月度研究会案内
- ・12月度合同研究会“AIシンポジウム'90”案内
- ・第11回/第12回/第13回人工セミナー開催案内
- ・環太平洋人工知能国際会議PRICAI'90論文募集/開催案内
- ・計算論的学習理論国際ワークショップALT'90論文募集/開催案内
- ・計算論的学習理論ワークショップALT'91論文募集
- ・第5回設計シンポジウム開催案内
- ・人工知能ハンドブック購読のおすすめ
- ・学会誌などバックナンバー頒布について
- ・入会のお勧め<個人会員/賛助会員/特殊購読会員>

11. 表彰

◇学会論文賞の贈呈

論文賞規程、論文賞候補選定細則にもとづき、会誌第4巻1号～第5巻第6号掲載の論文、ショートノートおよび技術資料計編を対象に、会員による推薦および候補選定委員会の審査を経て、下記の論文2編の著者に論文賞を贈呈した。

- ・ [協調型スケジューリングによる製鋼工程スケジューリング・エキスパートシステム] (VOL. 5, NO. 2) 森下 真一、沼尾 雅之、戸沢 義夫
- ・ [網：新しいATMSの処理系とその共通メモリ型マルチプロセッサ上での並列処理] (VOL. 5, NO. 3) 奥乃 博

◇研究奨励賞

本年度創設による第1回の表彰で、研究奨励賞規程、同細則にもとづき、今回は研究会活動を開始した1987年度から1989年度までの研究発表を対象に、登録会員による推薦および候補選定委員会による審査を経て、下記の7件に研究奨励賞を贈呈した。

<人工知能基礎論研究会>

- ・ (SIG-FAI-8904-3) [正データからの帰納推論の能力について] 篠原 武 (九工大)
- ・ (SIG-FAI-8904-7) [アルゴリズム論的教示の理論] 篠原 歩、宮野 悟 (九大)

<ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会>

- ・ (SIG-HICG-8804-2) [ユーザモデルの動的な構築と発話プランニングへの利用] 松元貴志 (リクルート関西)、上原龍也 (阪大)、上原邦昭、豊田順一 (阪大)
- ・ (SIG-HICG-8903-2) [多階層モデルにおける対象の表示法] 久野 巧 (電総研)

<知識ベースシステム研究会>

- ・ (SIG-KBS-8801-2) [エキスパートシステム構築方法論について] 溝口理一郎 (阪大)、山口高平 (静岡大)、角所 収 (阪大)
- ・ (SIG-KBS-8803-6) [CONMOTOシステムにおける設計属性の定義と操作] 伊藤公俊、柴田智康 (東工大)
- ・ (SIG-KBS-8905-6) [知識処理システム構築のための問題向きの推論プログラム自動生成手法] 笠原孝保、山田直之、小林康弘 (日立)

◇全国大会 (第4回) 優秀論文の表彰

発表論文169編を対象に、プログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文7編の著者を表彰した。

- ・ 論文番号1-1 [述語サーカムスクリプションにおける質問変換とその性質] 岩沼宏治 (山形大)、原尾政輝 (九工大)、野口正一 (東北大)
- ・ 論文番号2-1 [論理プログラミング環境におけるEBLの有効性計算] 山田誠二、辻 三郎 (阪大)
- ・ 論文番号6-6 [部分抽象化モデルを用いた定性推論] 桐山孝司、中田秀基、富山哲男、吉川弘之 (東大)
- ・ 論文番号15-6 [日本語推敲支援システムにおける書き換え支援機能] 林 良彦 (NTT)、菊井玄一郎 (ATR自動翻訳研)
- ・ 論文番号16-27 [自律ハイウェイ走行のためのクルーズプランナー] 藤田健二、香川八洲男、里信 純、奥野昭宏 (マツダ)
- ・ 論文番号17-2 [属性獲得機能を持つ決定木帰納学習システム] 金城将文、溝口理一郎 (阪大)

1.2. 共催、協賛、後援の催し物

次のとおり催し物の共催1件、協賛件25件、後援4件により、他学協会と協調して学会活動の活発化、多様化を進めた。

(共催)

◇1991年情報学シンポジウム「知的情報の資源化とその高度処理をめざして」

日本学術会議情報学研究連絡委員会/学術文献情報研究連絡委員会/学術データ情報研究連絡委員会/情報工学研究連絡委員会、(社)情報処理学会、他7学会共同主催(1991/1/8・9)日本学術会議講堂(東京・乃木坂)

(協賛)

- ◇第41回産業用ロボット利用技術講習会
 (財)日本産業用ロボット工業会主催<東京>(1990/4/18/19)日本電機工業会JEMAホール(東京・永田町)<名古屋>(1990/4/26/27)名古屋市工業研究所第1会議室(名古屋・熱田区)
- ◇講習会第2回[ファジィ理論の基礎]
 日本ファジィ学会主催(1990/6/28・29)東京大学山上会館大会議室(東京・本郷)
- ◇セミナー[ニューラル/ファジィ新しい展開を探る]
 システム制御情報学会主催<大阪>(1990/6/28・29)なにわ会館葛城の間(大阪・天王寺)<東京>(1990/7/4・5)ダイヤモンドホール(東京・霞が関)
- ◇第8回設計シンポジウム
 (社)精密工学会主催(1990/7/5・6)東京大学山上会館(東京・本郷)
- ◇Dynamics and Design Conference
 (社)日本機械学会主催(1990/7/9~14)川崎市産業振興会館(川崎市・幸区)
- ◇機械翻訳利用に関するシンポジウム
 (財)日本電子工業振興協会主催(1990/7/13)機械振興会館地下2階ホール(東京・芝公園)
- ◇特別国際シンポジウム「知的C A Iにおける認知モデルの方向性」
 (社)日本工業技術振興協会/次世代知的C A I研究部会主催(1990/7/16)CSK教育情報センター(東京・多摩)
- ◇システム制御情報チュートリアル講座「ニューラルネットワークの基礎」
 システム制御情報学会主催:(1990/9/3・6・10・12・17)エル・おおさか(大阪・北浜)
- ◇講習会第3回[ファジィ理論の基礎]
 日本ファジィ学会主催(1990/9/27・28)関西大学100周年記念会館(大阪・千里)
- ◇A V I R G - S M C サマーセミナー[バイオコンピューティングの基底を求めて]
 視聴覚情報研究会(A V I R G)主催(1990/9/28)東京大学工学部11号館講堂(東京・本郷)
- ◇講習会「ファジィとニューラルネットの接点を探る」
 (社)計測自動制御学会主催(1990/10/22)三田出版会大会議室(大阪・北区)
- ◇第12回[知能システムシンポジウム]
 (社)計測自動制御学会主催(1990/10/23・24)三田出版会大会議室(大阪・梅田)
- ◇多言語機械翻訳国際シンポジウム'90
 (財)国際情報化協力センター主催(1990/11/5・6)明治記念館(東京・元赤坂)
- ◇国際シンポジウム「コンピュータワールド'90」テーマ[マルチメディア技術と人工知能]
 兵庫県、神戸市、(財)関西情報センター主催(1990/11/7~9)神戸商工会議所会館/ホテルゴーフ
 ルリッツ(神戸市・港中町)
- ◇90センシング技術応用セミナー「90年代光センシング技術の近未来像」
 センシング技術応用研究会、大阪府技術協会主催(1990/11/8・9)住友ビル11階大会議室(大阪・北浜)
- ◇第169回講習会[H I M 実現のためのヒューマンインタフェース] - C A D / C A M / F A での人工現実感の実用化を探る -
 (社)精密工学会主催(1990/11/20)明治大学創立百周年記念館校友センター6F(東京・駿河台)
- ◇「第5回生体・生理工学シンポジウム」
 (社)計測自動制御学会主催(1990/11/26・27)福岡リーセントホテル(福岡市・箱崎)
- ◇講習会[ファジィ・エキスパート・システム]
 日本ファジィ学会主催(1990/12/7)関西大学100周年記念会館
- ◇第3回バイオ素子国際シンポジウム(3rd International Symposium Bioelectronic and Molecular Electronic Devices)
 (財)新機能素子研究開発協会主催(1990/12/18~20)神戸国際会議場(神戸・ポートアイランド)
- ◇セミナー[画像処理の基礎と応用]
 (社)テレビジョン学会主催(1991/1/9~11)機械振興会館地下3階研修室(東京・芝公園)

- ◇第2回自律分散システム・シンポジウム
 (社)計測自動制御学会主催(1991/1/16・17)なにわ会館(大阪・天王寺)
- ◇ワークステーション研究会第1回シンポジウムー分散オペレーティング・システムー
 ワークステーション研究会主催(1991/1/16)機械振興会館大ホール(東京・芝公園)
- ◇平成2年度ORセミナー[ニューラルネット、ファジィ理論の動向とORへの適用]
 (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会主催(1991/2/21)(東京・)
- ◇'91極限作業ロボット国際シンポジウム
 (社)日本産業用ロボット工業会、極限作業ロボット技術研究組合主催(1991/3/5~7)経団連会館
 ・経団連ホール(東京・丸の内)
- ◇分子設計・反応設計支援のための知識ベースシステム研究成果発表会
 科学技術庁科学技術振興局主催(1991/3/13・14)日本科学技術情報センター7階ホール(東京・永田
 町)
- 【後援】
- ◇第1回知識ベースシステムのための知識獲得国際ワークショップ(JKAW90)
 (財)関西情報センター、(株)日立製作所基礎研究所主催(1990/10/25・26)京都国際会議場(京
 都・宝ヶ池)
- ◇[AIの最新技術動向]
 (社)電子情報通信学会/人工知能と知識処理研究会主催(1990/11/27・28)機械振興会館6階66
 号室(東京・芝講演)
- ◇大規模知識ベースに関するシンポジウム
 (財)京都高度技術研究所主催(1990/11/28)京都リサーチパーク内サイエンスセンタービル4Fホ
 ール(京都・下京区)
- ◇第43回産業用ロボット利用技術講習会
 (社)日本産業用ロボット工業会主催<東京>(1991/3/19・20)(社)日本電機工業会[JEMAH
 ール]<大阪>(1991/3/28・29)大阪府社会福祉会館講堂(5階)

13. 会議

- ◇第5回通常総会
 6月29日(金)に東京郵便貯金会館(東京・芝公園)で開催、出席者1,028名(うち委任状
 950名)、特別講演に引続き1989年度事業報告、1990年度事業計画などの議案審議、決裁、
 1989年度論文賞表彰ならびに社団法人人工知能学会設立に伴う学会解散、財産、その他の譲渡な
 どを決議した。
- ◇社団法人人工知能学会設立発起人会
 6月29日(金)に東京郵便貯金会館(東京・芝公園)で開催、出席者26名(うち委任状7名)、
 1990年度以降3カ年事業計画/予算などの審議を行った。
- ◇社団法人人工知能学会設立総会
 6月29日(金)に東京郵便貯金会館(東京・芝公園)で開催、出席者1,028名(うち委任状
 950名)、1990年度以降3カ年事業計画/予算などの審議、決裁を行った。
- ◇理事会
 8月を除く各月に計11回開催した。
- ◇1990年度評議員会
 定例会議を6月1日(金)に開催、当日出席45名、総会議題、学会運営について審議を行った。
- ◇委員会
 編集、研究会運営、事業、国際、広報、法人化、企画、財務、庶務の各委員会ならびに1991年
 度全国大会(第4回)の大会委員会および同プログラム委員会、1991年度全国大会(第5回)開
 催準備のため設置された大会委員会および同プログラム委員会、PRICA I'90各委員会、AL
 T'90各委員会、が随時開催された。

なお、法人化委員会は業務達成のため解散、また委員会活動の効率化をはかるため、事業、企画、庶務の3委員会を統合し、次年度から企画（事業、企画、その他）、総務（庶務、その他）の2委員会で再スタートすることとなった。

14. 契約締結、覚書交換、認可など

- ◇人工知能ハンドブック出版契約書(1990/1/10)＜(株)オーム社＞
- ◇社団法人人工知能学会・文部省認可(1990/9/1)
- ◇社団法人人工知能学会・設立登記(1990/9/10)
- ◇人工知能ハンドブック販売に関する覚書(1990/9/17)＜(株)オーム社＞
- ◇[第1回計算論的学習理論国際ワークショップ(ALT'90)]プロシーディング出版契約書(1990/11/30)＜(株)オーム社＞
- ◇[環太平洋人工知能国際会議(PRICA I'90)]運営事務委託の覚書交換＜(株)インターグループ＞
- ◇全国大会運営業務委託の覚書交換(1991/2/22)＜(株)連企画研究事務所＞
1991年度全国大会(第5回)の準備着手に際し、運営事務を(株)連企画研究事務所に委託することとし、大会事務局(東京都港区浜松町2-12-14、第2日化ビル3階)を設けた。
- ◇[環太平洋人工知能国際会議(PRICA I'90)]プロシーディングズ出版契約書(1991/5/31)＜(株)オーム社＞

以上

1990年度決算報告書（案）

貸借対照表

（1991年3月31日）

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1) 現金預金	77,203,960
現金	(22,740)
預金	(14,181,220)
定期預金	(63,000,000)
(2) 未収金	13,335,976
(3) 立替金	128,600
(2) 担保金	1,169,000
(4) 貸出金	2,000,000
流動資産計	[93,837,536]
2. 固定資産	
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
その他の固定資産計	[4,564,584]
資 産 合 計	98,402,120

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1) 前納金	21,106,500
(2) 預り金	150,505
(3) 未払い金	5,894,764
流動負債計	[27,151,769]
2. 固定負債	
(1) 国際会議積立金	14,000,000
(2) A L T 積立金	980,000
(3) 退職金引当金	2,000,000
(4) 会費未納分除却引当金	2,800,000
(5) 事務所整備積立金	1,000,000
固定負債計	[20,780,000]
負 債 合 計	47,931,769

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1) 基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1) 次期繰越収支差額	15,470,351
剰余金計	[15,470,351]
正 味 財 産 合 計	50,470,351
負債および正味財産合計	98,402,120

財産目録

(1991年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	
(1)現金預金 77,203,960	
イ)現金	
現金手持ち有り高	22,740
ロ)普通預金	
第一勧業銀行北沢支店 (代表幹事口座)	1,178,706
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	8,381,598
郵便貯金	
(会長口座)	379,075
三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	955,702
第一勧業銀行北沢支店 (事務局長口座)	134,425
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	130,422
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座/新)	228,495
第一勧業銀行飯田橋支店 (A L T 積立金)	994,741
ハ)振替貯金	
東京振替貯金局	1,798,056
ニ)定期預金	
第一勧業銀行飯田橋支店	35,000,000
第一勧業銀行飯田橋支店	3,000,000
三菱銀行神楽坂支店	12,000,000
三菱銀行神楽坂支店	11,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2)未収金 13,335,976	
イ)会 費	8,532,262
ロ)会誌別刷り	1,979,321
ハ)会誌印税	195,720
ニ)会誌広告料	1,180,500
ホ)研究会登録料	202,500
ヘ)研究会別刷り料	38,000
ト)セミナー参加料	276,600
チ)大会剰余金	45,999
リ)PRICAI剰余金	543,574
ヲ)ハットブック予約料	82,000
ヲ)ハットブック手数料	183,000
ヲ)名簿予約料	76,500
(3)立替金	
イ)郵送料	128,600
(4)担保金	
イ)郵便物受取人払い担保金	1,169,000
(5)貸出金	
イ)全国大会運営費	2,000,000
2. 固定資産	
(1)入居保証金	4,344,000
(2)電話架設料	220,584
資 産 合 計	98,402,120

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	
(1)前納金	
イ)91年度会費	20,315,000
ロ)研究会登録料	791,500
(2)預り金	
イ)会費充当金、他	150,505
(3)未払金	
イ)会誌発行費	5,496,154
ロ)会誌別刷り印刷費	398,610
2. 固定負債	
イ)国際会議積立金	14,000,000
ロ)A L T 積立金	980,000
ハ)退職金引当金	2,000,000
ニ)会費未納分除却引当金	2,800,000
ホ)事務所整備積立金	1,000,000
負 債 合 計	47,931,769
正 味 財 産	50,470,351

注1: 基本財産は定期預金35,000,000円。

[1] 収支計算の部

(自1990年4月1日～至1991年3月31日)

1) 収入の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 異
基本財産運用	1,200,000	1,900,457	700,457
入会金収入	770,000	754,000	▲16,000
正会員入会金	740,000	670,000	▲70,000
学生会員入会金	30,000	84,000	54,000
会費収入	57,406,000	56,126,000	▲1,280,000
正会員会費	31,232,000	30,536,000	▲696,000
学生会員	1,104,000	1,240,000	136,000
賛助会員会費	24,400,000	23,760,000	▲640,000
特殊購読会員会費	670,000	590,000	▲80,000
事業収入	57,108,000	69,513,742	12,405,742
会誌等発行事業収入	9,698,000	12,919,769	3,221,769
会誌別刷料	3,336,000	6,932,000	3,596,000
会誌印税	972,000	1,012,920	40,920
ハトマーク印税	0	1,011,904	1,011,904
会誌広告料	4,410,000	2,878,455	▲1,531,545
会誌等頒布代	920,000	1,030,990	110,990
海外郵送料	60,000	53,500	▲6,500
学術集会等開催事業収入	47,410,000	56,593,973	9,183,973
全国大会参加費	15,000,000	13,080,920	▲1,919,080
セミナー参加費	2,460,000	2,520,000	60,000
フォーラム参加費	300,000	0	▲300,000
研究会登録料、他	2,750,000	2,855,500	105,500
国際会議PRICAI'90	21,000,000	31,495,892	10,495,892
国際ワークショップALT'90	5,900,000	6,641,661	741,661
雑収入	1,100,000	1,809,847	709,847
受取利息	850,000	1,546,703	696,703
雑収	250,000	263,144	13,144
積立金取崩し収入			
法人化準備基金取崩収入	-	13,000,000	13,000,000
当期収入合計	117,584,000	143,104,046	25,520,046
前期繰越収支差額	15,080,769	15,080,769	0
収入合計	132,664,769	158,184,815	25,520,046

2) 支出の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 異
事業費	84,642,000	97,148,377	12,506,377
会誌発行費	29,889,000	33,045,475	3,156,475
会誌別刷印刷費	1,920,000	2,269,603	349,603
会誌執筆謝礼	528,000	341,308	▲186,692
会誌発行諸経費	1,269,000	2,004,380	735,380
全国大会開催費	15,000,000	13,034,921	▲1,965,079
セミナー開催費	2,004,000	1,900,555	▲103,445
フォーラム開催費	551,000	0	▲551,000
研究部会開催費	150,000	0	▲150,000
ニューズレター発行費	810,000	925,110	115,110
地方講演会	720,000	662,651	▲57,349
研究会、他開催費	3,876,000	5,281,536	1,405,536
国際会議PRICAL'90	21,000,000	30,952,318	9,952,318
国際ワークショップ'ALT'90	5,900,000	5,662,699	▲237,301
広報活動費	360,000	332,285	▲27,715
表彰費	60,000	71,675	11,675
会議費	605,000	663,861	58,861
管理費	26,698,000	35,786,087	9,088,087
家賃	1,875,000	2,900,480	1,025,480
共益費	67,000	344,020	277,020
光熱費	220,000	335,968	115,968
リース料 他	1,016,000	1,269,239	253,239
機械修理費	40,000	41,200	1,200
什器備品費	200,000	28,840	▲171,160
会議費	1,400,000	1,383,151	▲16,849
旅費交通費	250,000	354,510	104,510
通信費	2,700,000	3,130,012	430,012
印刷費	900,000	1,233,062	333,062
消耗品費	1,100,000	1,884,864	784,864
倉庫管理費	300,000	392,643	92,643
給料手当等	13,000,000	13,445,273	445,273
臨時雇用費	1,500,000	1,122,540	▲377,460
支払い手数料	50,000	76,288	26,288
雑費	120,000	224,931	104,931
資料購入費	145,000	153,210	8,210
研修費	30,000	58,000	28,000
諸会費	80,000	81,000	1,000
O A 強化費	500,000	0	▲500,000
保険料	5,000	3,800	▲1,200
福利厚生費	1,200,000	216,582	▲983,418
法人設立関係費用	-	2,028,136	2,028,136
事務所移転関係費用	-	2,226,338	2,226,338
旧事務所保証金償却額	-	1,050,000	1,050,000
会費未納分除却損	-	1,802,000	1,802,000
引当金繰入れ支出	4,300,000	9,780,000	5,480,000
国際会議積立金	2,000,000	2,000,000	0
法人化準備基金	2,000,000	2,000,000	0
ALT積立金	-	980,000	980,000
退職金引当金	300,000	1,000,000	700,000
会費未納引当金	-	2,800,000	2,800,000
事務所整備積立金	-	1,000,000	1,000,000
予備費	1,800,000	0	▲1,800,000
当期支出合計	117,440,000	142,714,464	25,274,464
次期繰越収支差額	15,224,769	15,470,351	245,582
支出合計	132,664,769	158,184,815	25,520,046

〔2〕正味財産増減計算の部

(自1990年4月1日～至1991年3月31日)

1) 増加の部

科 目	実 算 額
当期収支差額	389,582
当期増減差額	0
増加額合計	389,582

2) 減少の部

科 目	実 算 額
当期収支差額	0
当期増減差額	876,000
減少額合計	876,000

3) 合計の部

科 目	実 算 額
当期正味財産増加額	▲486,418
前期繰越正味財産額	50,956,769
期末正味財産合計額	50,470,351

1990年8月31日現在決算報告書

貸借対照表

(1990年8月31日)

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1)現金預金	89,748,389
現金	(134,674)
預金	(15,613,715)
定期預金	(74,000,000)
(2)未収金	20,020,961
(3)前払い金	27,997
(4)立替金	223,800
(5)担保金	1,162,000
(6)貸出金	2,101,000
流動資産計	[113,284,147]
2. 固定資産	
(1)備品	876,000
(1)入居保証金	4,344,000
(2)電話架設料	220,584
その他の固定資産計	[5,440,584]
資 産 合 計	118,724,731

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1)前納金	346,400
(2)預り金	5,478,284
(3)未払い金	358,440
流動負債計	[6,183,124]
2. 固定負債	
(1)国際会議積立金	12,000,000
(2)法人化準備基金	11,000,000
(3)退職金引当金	1,000,000
固定負債計	[24,000,000]
負 債 合 計	30,183,124

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1)基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1)次期繰越収支差額	52,590,623
(2)次期繰越増減差額	950,984
剰余金計	[53,541,607]
正 味 財 産 合 計	88,541,607
負債および正味財産合計	118,724,731

1991年度事業計画（案）

1. 運営・活動方針

会則の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会（第5回）、国際会議、研究会、セミナー、講演会およびフォーラムの開催、研究部会活動の推進、ニューズレターの発行、学会論文賞、研究奨励賞および全国大会優秀論文の表彰、ならびに他学協会および海外関連団体との協調により学会活動の活発化、多様化を推進するとともに、引続き組織・基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかる。

また、本年7月で学会創立後満5年を迎えるのを記念して、5周年記念論文賞の表彰を行い、会誌—学会創立5周年記念号—（7月号／第6巻第4号）を発行する。

なお、人工知能国際会議 I J C A I ' 9 7 の日本誘致に向けて、具体的な準備を開始する。

2. 会誌の発行

◇第6巻第3号（通巻27号）1991年5月1日発行

パネルディスカッション [大規模知識ベースの構築と利用]（第4回全国大会）

特集企画 [高度情報通信と人工知能—ATRにおける人工知能の研究—]

◇第6巻第4号（通巻28号）1990年7月1日発行

—5周年記念特集号—

5周年記念優秀論文、5周年記念座談会 [AI・ニューロ・ファジィ]

◇第6巻第5号（通巻29号）1991年9月1日発行

◇第6巻第6号（通巻30号）1991年11月1日発行

特集企画 [人工知能の理論と実際]

◇第7巻第1号（通巻31号）1992年1月1日発行

◇第7巻第2号（通巻32号）1992年3月1日発行

特集企画 [設計とAI]

3. 全国大会（第5回）の開催

期 日 1991年6月25日（火）～28日（金）

場 所 学習院大学・記念会館

構 成 ・特別講演 [ヒトゲノム解析計画と人工知能]

金久 實氏（京都大学）

・招待講演 [EXPERIMENT IN RULE-BASED CONTROL :

beyond the Neural Paradigm for Machine Learning]

Prof. Donald Michie (The Turing Institute)

・パネルディスカッション [機械学習の理論と実際]

・研究会企画特別セッション

[Visual Interface]（ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会）

[学習理論への新しい視覚：MDLとその周辺]（人工知能基礎論研究会）

[エキスパートシステム構築方法論（支援システム）]

（知識ベースシステム研究会）

・一般講演（177件）

・チュートリアル講演（3トラック9件）

Track A - 知識システムの構築手法とその新技術—

Track B - 問題解決における制約知識の利用—

Track C - 知識の学習とその新潮流—

4. ワークショップの開催

◇計算論的学習理論ワークショップALT'91

期 日 1991年10月23日(水)～25日(金)
場 所 CSK情報教育センター(東京・多摩)
構 成 招待講演/論文発表

5. 研究会の開催

3研究会がそれぞれ年4～5回の研究会を開催する。12月度は3研究会合同で、AIシンポジウム'91として講演、パネル討論、研究発表を行う。

◇人工知能基礎論研究会(略称:SIG-FAI)

開催予定月:5月13日(東京)、10月、12月(3研究会合同/AIシンポジウム'91)、2月

<内 容>:論理、推論、学習、知識の表現と獲得、並列計算モデル、知的プログラミング、自然言語理解、パターン理解などに関する人工知能としての基礎的研究

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会(略称:SIG-HICG)

開催予定月:5月17日(テーマ:マルチメディア・ハイパーメディア、大阪)、10月、12月(3研究会合同/AIシンポジウム'91)、2月

<内 容>:ヒューマンインタフェース設計論、対話モデル、認知モデル(知覚、記憶、思考、学習、言語)、人間と機械との協調問題解決、計算機支援による応用システム(エキスパートシステム、CAD、CAI、OAなど)のヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの評価技術、ヒューマンインタフェース向きアーキテクチャ、メタファ

◇知識ベースシステム研究会(略称:SIG-KBS)

開催予定月:4月27日(東京)、9月11日(東京)、10月18日(大阪)(テーマ:土木・建築と知識ベースシステム<予定>、東京)、12月(3研究会合同/AIシンポジウム'91)、2月

<内 容>:人工知能ツール、環境(AI言語、AIツール、AIワークステーション、AI向きアーキテクチャ)、人工知能技法(知識表現、推論、知識獲得)、人工知能応用(エキスパートシステム、自然言語処理、パターン情報処理、知的CAIなど)《なお本研究会は、広い意味での知識ベースシステムの応用をテーマとする研究発表を受け付けています。エキスパートシステムに限らず、知的設計支援、ソフトウェア開発支援、知的データベース、自然言語処理応用、知的制御、知的CAI、生産管理への知識ベース応用、などもテーマとして取り上げていく予定です。》

6. セミナー、講演会およびフォーラムの開催

セミナーおよび学生のための講演会をそれぞれ年3回、フォーラムを年1回開催の予定。

7. 研究部会活動の推進

知的コミュニケーションネットワーク、知的ソフトウェア開発、知的データベースの3研究部会を中心に、部会活動を進める。

8. ニュースレターの発行

年3回程度随時発行の予定。

9. 表彰

学会創立5周年記念論文の表彰、1991年発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞の表彰、1990年度開催の研究会発表を対象にした研究奨励賞の表彰、および全国大会(第5回)発表優秀論文の表彰を行う。

10. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引続き、他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進する。本学会が共催／協賛／後援する、関連学協会の本年度開催の催し物は、共催3件、協賛41件、後援1件（6月末日現在）である。

11. 総会・評議員会・理事会・委員会

◇総会

通常総会（第6回）を年1回開催（6月27日）。

◇評議員会

年1回開催

◇理事会

毎月1回開催。（8月は休会）

◇委員会その他

会誌編集、研究会運営、企画、全国大会・同プログラム委員会、国際、広報、財務、総務、AL T ' 9 1の各委員会は随時開催。

12. 1991年度役員構成（案）

別紙参照

13. 1991年度評議員構成（案）

別紙参照

以上

1991年度予算書(案)

(自1991年4月1日～至1992年3月31日)

1) 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
基本財産運用	2,700,000	1,200,000	1,500,000
入会金収入	760,000	770,000	▲10,000
正会員入会金	720,000	740,000	▲20,000
学生会員入会金	40,000	30,000	10,000
会費収入	58,940,000	57,406,000	1,534,000
正会員会費	31,808,000	31,232,000	576,000
学生会員会費	1,352,000	1,104,000	248,000
賛助会員会費	25,040,000	24,400,000	640,000
特殊購読会員会費	740,000	670,000	70,000
事業収入	30,126,000	52,888,000	▲22,762,000
会誌別刷料	4,164,000	3,336,000	828,000
会誌印税	972,000	972,000	0
全国大会参加費 他	16,000,000	15,000,000	1,000,000
セミナー参加費	3,090,000	2,460,000	630,000
フォーラム参加費	180,000	300,000	▲120,000
会誌など頒布代	720,000	920,000	▲200,000
研究会登録料、他	3,190,000	2,750,000	440,000
国際会議PRICA'90	-	21,000,000	▲21,000,000
国際会議ALT'90	-	5,900,000	▲5,900,000
国内ワークショップALT'91	1,560,000	0	1,560,000
その他	250,000	250,000	0
雑収入	5,520,000	5,320,000	200,000
会誌広告料	4,410,000	4,410,000	0
郵送料 他	60,000	60,000	0
受取利息	1,050,000	850,000	200,000
当期収入合計	98,046,000	117,584,000	▲19,538,000
前期繰越収支差額	15,470,351	15,080,769	389,582
収入合計	113,516,351	132,664,769	▲19,148,418

2) 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
事業費	61,724,000	84,642,000	▲22,918,000
会誌発行費	30,444,000	29,889,000	555,000
会誌別刷印刷費	2,112,000	1,920,000	192,000
会誌執筆謝礼	528,000	528,000	0
会誌発行諸経費	1,400,000	1,269,000	131,000
全国大会開催費	16,000,000	15,000,000	1,000,000
セミナー開催費	2,004,000	2,004,000	0
フォーラム開催費	551,000	551,000	0
研究部会開催費	100,000	150,000	▲50,000
ニューズレター発行費	810,000	810,000	0
地方講演会	645,000	720,000	▲75,000
研究会、他開催費	4,455,000	3,876,000	579,000
国際会議PRICAL'90	-	21,000,000	▲21,000,000
国際ワークショップ ALT'90	-	5,900,000	▲5,900,000
国内ワークショップ ALT'91	1,550,000	-	1,550,000
広報活動費	460,000	360,000	100,000
表彰費	60,000	60,000	0
会議費	605,000	605,000	0
管理費	33,201,000	26,698,000	6,503,000
家賃	3,399,000	1,875,000	1,524,000
共益費	482,000	67,000	415,000
光熱費	300,000	220,000	80,000
リース料 他	1,400,000	1,016,000	384,000
機械修理費	40,000	40,000	0
什器備品費	200,000	200,000	0
会議費	1,400,000	1,400,000	0
旅費交通費	250,000	250,000	0
通信費	2,700,000	2,700,000	0
印刷費	900,000	900,000	0
消耗品費	1,100,000	1,100,000	0
倉庫管理費	300,000	300,000	0
給料手当等	17,600,000	13,000,000	4,600,000
臨時雇用費	800,000	1,500,000	▲700,000
支払い手数料	50,000	50,000	0
雑費	120,000	120,000	0
資料購入費	145,000	145,000	0
研修費	30,000	30,000	0
諸会費	80,000	80,000	0
O A強化費	200,000	500,000	▲300,000
保険料	5,000	5,000	0
福利厚生費	1,700,000	1,200,000	500,000
積立金繰入れ支出	2,300,000	4,300,000	▲2,000,000
国際会議積立金	1,500,000	2,000,000	▲500,000
法人化準備金	0	2,000,000	▲2,000,000
事務所整備積立金	500,000	-	500,000
退職金引当金	300,000	300,000	0
予備費	800,000	1,800,000	▲1,000,000
当期支出合計	98,025,000	117,440,000	▲19,415,000
次期繰越収支差額	15,491,351	15,224,769	266,582
支出合計	113,516,351	132,664,769	▲19,148,418

1991年度役員構成(案)

会 長	辻 三郎	大阪大学基礎工学部制御工学科／教授	(留任)
副会長	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科／教授	(留任)
副会長	石原孝一郎	(株)日立製作所システム開発研究所／主管研究員	(新任)
理 事	雨宮 真人	九州大学大学院総合理工学研究科／教授	(新任)
理 事	池田 克夫	京都大学工学部情報工学科／教授	(新任)
理 事	石塚 満	東京大学生産技術研究所第3部／助教授	(新任)
理 事	上野 晴樹	東京電機大学理工学部経営工学科／教授	(留任)
理 事	大崎 幹雄	(株)シャープ情報技術開発センター／副所長	(留任)
理 事	河岡 司	日本電信電話(株)情報通信処理研究所／知識処理研究部長	(新任)
理 事	小山 照夫	学術情報センター研究開発部／助教授	(新任)
理 事	後藤 敏	日本電気(株)C&Cシステム研究所／所長代理	(新任)
理 事	佐藤 繁	(株)富士通研究所／取締役	(留任)
理 事	下村 尚久	(株)東芝総合研究所／所長	(再任)
理 事	白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科／教授	(留任)
理 事	田中 英彦	東京大学工学部電気工学科／教授	(留任)
理 事	田中 穂積	東京工業大学工学部情報工学科／教授	(留任)
理 事	田中 譲	北海道大学工学部電気工学科／教授	(新任)
理 事	古川 康一	(財)新世代コンピュータ技術開発機構／研究担当次長	(新任)
理 事	元田 浩	(株)日立製作所基礎研究所／主管研究員	(留任)
理 事	柳生 孝昭	日本ユニシス(株)／常務取締役	(新任)
監 事	佐々木浩二	(株)アドイン研究所／代表取締役	(留任)
監 事	早馬 修	(株)野村総合研究所／常務取締役	(新任)



顧 問	榎本 肇	芝浦工業大学工学部工業経営学科／教授	(留任)
顧 問	福村 晃夫	中京大学情報科学部情報科学科／教授・学部長	(留任)
顧 問	大須賀節雄	東京大学先端科学技術研究センター／教授・センター長	(留任)

(理事は五十音順)

1991年度評議員構成（案）

大学関係	45名
国立・公的機関関係	9名
企業関係	40名
合計	94名

相磯 秀夫	慶応義塾大学環境情報学部	(留任)
赤間 清	北海道大学工学部情報工学科	(新任)
浅井 清	日本原子力研究所情報システムセンター	(新任)
池田 純一	池田法律事務所	(留任)
石井 義則	日本デジタルイクイップメント(株) 総合システム本部基本アプリケーション開発部	(新任)
伊藤 公俊	東京工業大学総合理工学研究科	(留任)
岩井 壮介	京都大学工学部精密工学科	(留任)
上田 寿男	日本デジタルイクイップメント(株)総合システム本部	(新任)
上原 貴夫	(株)富士通研究所川崎研究所	(新任)
植村 俊亮	東京農工大学工学部電子情報工学科	(留任)
臼井 支朗	豊橋技術科学大学工学部情報工学系	(留任)
大槻 説乎	九州工業大学情報工学部知能情報工学科	(新任)
大島 正毅	電子技術総合研究所/知能システム部視覚情報研究室	(留任)
小川 均	立命館大学理工学部情報工学科	(留任)
尾上 守夫	(株)リコー/中央研究所	(留任)
開原 成允	東京大学医学部附属病院中央医療情報部	(留任)
河田 勉	(株)東芝総合研究所情報システム研究所	(新任)
川戸 信明	(株)富士通研究所/人工知能研究部	(留任)
神田 隆	富士通(株)企画部A I開発推進部	(新任)
岸 義樹	製品科学研究所応用人間工学部情報機能課	(留任)
北島 敬一	富士通エフ・アイ・ピー(株)システム本部技術開発部	(留任)
喜連川 優	東京大学生産技術研究所第3部	(留任)
国井 利泰	東京大学理学部情報科学科	(留任)
国藤 進	(株)富士通研究所国際情報社会科学研究所第二研究部	(留任)
樽松 明	(株)ATR自動翻訳電話研究所	(新任)
黒川 利明	日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所	(留任)
小泉 寿男	三菱電機(株)情報電子研究所システム・ソフトウェア開発部	(留任)
河野 毅	(株)東芝システム・ソフトウェア技術研究所	(新任)
小林 重信	東京工業大学総合理工学研究科	(新任)
小林 幸雄	日本電信電話(株)ヒューマンインタフェース研究所視覚情報研究部	(新任)
後藤 宗弘	岐阜大学工学部電子情報工学科	(留任)
榊 博史	国際電信電話(株)研究所知能処理研究室	(留任)
佐藤 泰介	電子技術総合研究所知能情報部推論研究室	(新任)
里村 洋一	千葉大学医学部附属病院医療情報部	(留任)
篠原 武	九州工業大学情報工学部知能情報工学科	(新任)
謝 章文	京都産業大学工学部情報通信学科	(留任)
首藤 公昭	福岡大学工学部電気工学科	(留任)
志村 則彰	カシオ計算機(株)開発本部	(留任)
白井 英俊	中京大学情報科学部認知科学科	(留任)
白鳥 則郎	東北大学工学部情報工学科	(留任)
杉江 昇	名古屋大学工学部情報工学科	(留任)
鈴木 道夫	(財)電力中央研究所/経済研究所情報システム部知識処理研究室	(留任)
鈴木 宣夫	名古屋工業大学電気情報工学科	(留任)
高木 朗	(株)CSK技術開発本部言語情報研究部	(新任)

滝沢 誠	東京電機大学理工学部経営工学科	(留任)
田中 克己	神戸大学工学部計測工学科	(留任)
田中 稔	山口大学工学部物理系専攻	(留任)
田中 庸平	中部電力(株) システム開発部	(留任)
田町 常夫	福岡工業大学工学部通信工学科	(留任)
寺島 信義	日本電信電話(株) 技術情報センター	(留任)
寺野 隆雄	筑波大学大学院経営システム科学専攻	(留任)
戸田 巖	日本電信電話(株) 研究開発技術本部	(留任)
戸田 正直	中京大学情報科学部認知科学科	(留任)
富山 哲男	東京大学工学部精密機械工学科	(留任)
中島 昌也	松下電器産業(株) / 情報通信研究センター	(留任)
西島 誠一	(株) 東芝 / システムソフトウェア技術研究所	(留任)
西田 豊明	京都大学工学部情報工学教室	(留任)
似鳥 一彦	沖電気工業(株) 研究開発本部電子システム研究所	(留任)
野口 正一	東北大学応用情報学研究センター	(留任)
萩原 宏	龍谷大学理工学部電子情報学科	(留任)
長谷川 隆	(株) 野村総合研究所知的システム研究部	(新任)
八賀 明	(財) 鉄道総合技術研究所八賀研究室	(新任)
原口 誠	東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学	(留任)
原田 実	青山学院大学理工学部経営工学科	(新任)
日高 達	九州大学工学部情報工学科	(新任)
平井 有三	筑波大学電子・情報工学系	(留任)
廣瀬 通孝	東京大学工学部産業機械工学科	(留任)
淵 一博	(財) 新世代コンピュータ技術開発機構	(新任)
古川 俊之	国立大阪病院	(留任)
堀 浩一	東京大学先端科学技術研究センター知識処理・伝達システム分野	(留任)
松浦 卓丈	三菱電機(株) 鎌倉製作所ソフトウェア技術部	(新任)
松浦 敏之	関西電力(株) 研究開発部	(留任)
松波 正巳	(株) 野村総合研究所 / 技術本部	(留任)
三上 市蔵	関西大学工学部土木工学科	(新任)
三雲 正夫	(株) 構造システム	(新任)
溝口理一郎	大阪大学産業科学研究所	(新任)
南 正名	(株) 東芝 / 総合研究所企画グループ	(留任)
三宅 芳雄	日本電信電話(株) 基礎研究所情報科学部	(新任)
向殿 政男	明治大学工学部電子通信工学科	(新任)
武藤 猛	日本デジタルイクイップメント(株) アプリケーションセンター	(留任)
村岡 洋一	早稲田大学理工学部電子通信学科	(新任)
森 健一	(株) 東芝 / 情報機器事業本部	(留任)
森 俊二	(株) リコー中央研究所	(新任)
森 文彦	(株) 日立製作所システム開発研究所	(新任)
山崎 正人	松下電器産業(株) 情報通信東京研究所基礎研究部	(新任)
山田 博	中京大学情報科学部情報科学科	(留任)
山本 英雄	国際電信電話(株) 研究開発本部	(留任)
山本 正隆	沖電気工業(株) 研究開発本部	(新任)
山本 昌弘	日本電気(株) C & C システム研究所	(新任)
横田 將生	福岡工業大学工学部・言語情報研究所	(留任)
横森 貢	電気通信大学電気通信学部情報工学科	(新任)
米澤 啓明	日本生命保険相互会社	(新任)
渡辺 豊英	名古屋大学工学部情報工学科	(新任)
渡辺 正信	日本デジタルイクイップメント(株)	(留任)

(五十音順)

名誉会員推薦について

本学会定款第3章第6条にもとづき、人工知能分野の学問的研究の促進ならびに本学会の運営、事業活動の発展に著しく寄与されました下記の3氏を本学会名誉会員に推薦いたします。

- ◇福村 晃夫 氏
- 現職 中京大学情報科学部教授／学部長
- 略歴 1949年名古屋大学工学部電気学科卒業。同年同大学助手。その後講師、助教授を経て1968年教授。1981年同大学大型計算機センター長併任。1988年中京大学教授、情報科学部長、現在にいたる。工学博士。人工知能研究助成財団顧問、学術情報センター参与。情報化推進貢献郵政大臣賞受賞。著書「オートマトン・形式言語理論と計算論」（岩波書店）。本学会初代会長、顧問を歴任。
- ◇榎本 肇 氏
- 現職 芝浦工業大学工学部教授
- 略歴 1948年3月東京工業大学卒業。同年6月郵政省入省、電波監理局勤務。1954年5月国際電信電話（株）入社、研究所勤務。1967年5月東京工業大学理工学部教授。1985年4月同大学名誉教授、富士通（株）顧問。1989年4月芝浦工業大学工学部教授、現在にいたる。1987年度電子情報通信学会功績賞受賞、その他論文賞8件受賞。本学会顧問。
- ◇大須賀節雄 氏
- 現職 東京大学先端科学技術研究センター教授／センター長
- 略歴 1957年東京大学工学部卒業。同年富士精密工業（株）入社。61年東京大学航空研究所助手。1966年工学博士。1967年同大学宇宙航空研究所助教授。1981年同大学工学部教授。1987年同大学先端科学技術研究センター教授、1991年同センター長、現在にいたる。本学会副会長、会長、顧問を歴任。

以上

個人会員の除名処分について

[会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則] にもとづき、86年度・87年度会費未納の下記の個人会員56名を、1990年度末をもって除名いたします。

◇内 訳

・ 86年度入会	正会員	46名
	学生会員	7名
	小 計	53名
・ 87年度入会	正会員	3名
	小 計	3名
・ 合 計		56名

以上

規程・細則などの改正および制定/廃止について

昨年法人化に際して制定した本学会定款との整合性をとるためと、委員会活動の効率化などにより庶務/企画/事業/広報委員会を総務/企画/広報委員会に統廃合することに対応して、下記のとおり規程・細則などの改正および制定/廃止を一括して行う。

記

◇改正/制定する規程・細則など

・理事会規程	1988/7/22	定款対応/顧問制度改正
・役員選任規程	1991/6/26	定款対応改正
・役員候補者選出および選挙の実施に関する細則	1991/6/26	定款対応改正/制定
・評議員選任規程	1991/6/26	定款対応改正/制定
・評議員候補者選出および選挙の実施に関する細則	1991/6/26	定款対応改正/制定
・会計規程	1987/3/20	定款対応改正
・会誌編集委員会規程	1986/9/11	定款対応改正
・研究会運営委員会規程	1988/3/25	定款対応/規程・細則分離改正
・研究会運営細則	1991/6/26	規程/細則分離制定
・企画委員会規程<旧事業/企画委員会規程>	1990/6/1	組織変更/定款対応改正
・国際委員会規程	1990/12/21	定款対応改正
・広報委員会規程	1990/1/26	定款対応改正
・財務委員会規程	1987/5/15	定款対応改正
・総務委員会規程<旧庶務/企画委員会規程>	1988/2/26	組織変更/定款対応改正
・全国大会規程	1987/12/25	定款対応改正
・研究奨励賞規程	1990/12/21	表彰対象発表期間変更改正
・論文賞規程	1988/1/22	表彰対象期間変更改正
・論文賞候補選定細則	1988/1/22	表彰対象期間変更改正

◇廃止する規程・細則など

・事業委員会規程<旧>	1990/6/1	組織変更廃止
・庶務委員会規程<旧>	1988/2/26	組織変更廃止
・企画委員会規程<旧>	1986/12/19	組織変更廃止
・役員候補選出に関する規程	1988/11/25	定款対応/選出制度改正廃止
・役員候補選出に関する細則	1989/1/27	同上
・役員および評議員の選出に関する細則	1988/5/27	同上
・評議員選挙規程	1986/10/17	同上

◇改正/制定/廃止の期日

1991年6月26日

以上